

平成30年 7月 3日

各位

会社名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
 代表者氏名 代表取締役社長 山下 尚登
 (コード番号 9265 東証第一部)
 問合せ先 取締役 伊藤 秀憲
 (TEL 092-726-8200)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年12月1日に公表いたしました連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成30年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	57,430	240	307	153	61.24
今回発表予想(B)	58,692	373	449	220	86.48
増減額(B-A)	1,262	133	142	67	
増減率(%)	2.2	55.5	46.4	43.9	
(ご参考)前期実績※ (平成29年5月期)	52,517	186	258	19	7.75

※当社は、山下医科器械株式会社の単独株式移転により平成29年12月1日に設立されました。そのため、前期実績については参考情報として、当社子会社である山下医科器械株式会社の平成29年5月期実績を記載しております。

(2) 修正の理由

当期におきましては、大型の設備案件の減少により、主として一般機器分野における医療機器備品の売上高が予想を下回って推移いたしました。一方、SPD 契約施設における医療機器消耗品の売上が順調に増加したこと、低侵襲治療分野における内視鏡備品やサージカル備品の売上が予想を上回ったこと、さらに昨年6月に新たにグループ化した株式会社トムスにおける透析分野機器の売上が当初予想を上回ったことなどから、医療機器販売業全体としての売上高は予想を上回る見込みとなりました。

また、医療機器製造・販売業におきましては、グループ会社開発の整形外科用インプラント製品の販路が順調に拡大し、販売が計画以上に伸びいたしました。

これらの結果、当期における当社グループの売上高は、前回公表時の予想を上回る見込みとなりました。

利益面におきましては、物流会社の運賃値上げ等のコスト上昇要因はあったものの、売上増加に伴い売上総利益が増加したことに加え、開設から2年目となる長崎物流センターの稼働安定化をはじめとする物流部門効率化の効果等により、販売費及び一般管理費が計画を下回ったことから、営業利益、経常利益、親会社株主に属する当期純利益についても予想を上回る見込みとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容(平成30年5月期)

基準日	年間配当金		
	第2四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	19.00	19.00
今回修正予想	—	25.00	25.00
当期実績	0.00		
前期実績※ (平成29年5月期)	0.00	10.00	10.00

※当社は、山下医科器械株式会社の単独株式移転により平成29年12月1日に設立されました。そのため、前期実績については参考情報として、当社子会社である山下医科器械株式会社の平成29年5月期実績を記載しております。

(2) 修正の理由

当社グループでは従来より、安定的な配当の継続を基本方針とし、配当水準として連結配当性向 30%を基準としております。

当期連結業績予想の上方修正を踏まえ、上記基準に従い、期末の配当予想を前回公表しております1株当たり19円から、同25円に修正させていただきます。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上